



RBC BlueBay
Asset Management

CLOプラットフォーム： 進化する成長ストーリー



シド・チャブラ

証券化クレジット、CLOマネジ
メントおよび欧州ハイ・イールド
債ヘッド

2026年3月

当社は、欧州を代表するCLOマネジャーの1つであるとともに、CLOに対する投資家であることから、CLO市場の需給要因とダイナミクスを深く理解しています。当社として、欧州で9本目のCLO、グローバルで見ると15本目のCLOの発行が決定しました。私たちの成長するプラットフォームについてご説明します。

ポイント

- 厳しい市場環境でしたが、機関投資家から強力な支持を集め、4億ユーロの発行を決定することができました。これは、これまでの実績に裏打ちされた、当社のグローバルCLO投資プラットフォームの強さを示すものと言えます。
- このプラットフォームは、長い歴史を持つ当社のレバレッジド・ローンおよびハイ・イールド債分野の一部です。270億米ドル規模のグローバル・レバレッジド・ファイナンスおよび証券化クレジット・ビジネスの中核を担い、近年大きく成長しています。
- 成長を続けるローン市場において、米国および欧州のアナリストによるリサーチ体制、強固なオペレーション、インフラ、および法務サポートが、私たちの競争力の源泉となっています。

当社のCLOビジネスの発展

CLOプラットフォームの構築と発展は、私たちのレバレッジド・ファイナンスおよび証券化クレジット・ビジネスの成長における重要な要素となっています。その歴史は2002年に遡りますが、過去5～6年間で見ると、運用資産残高は100億米ドルから270億米ドルへと著しい成長を遂げました。

当社のローン戦略のAUMも、この数年間で大幅に増加しています。これは、CLOの発行、ハイ・イールド債およびレバレッジド・ファイナンスへの資金流入、およびマルチアセットにおけるローン資産への配分拡大が原動力となっています。

当社にとって15本目となるCLOの発行は、私たちのCLOビジネスの継続的な強さと、アクティブ運用の魅力を裏付けるものと考えています。

当社のCLOプラットフォームにおける成功の原動力

長年にわたる成功には、複数の要因があると考えています。

- **レバレッジド・ローンおよびハイ・イールド運用の長い歴史：**
成長も一つの指標ではありますが、様々な市場局面を通じて持続的なパフォーマンスを生み出すことは、運用を評価するうえで重要な基準であると考えています。当社のレバレッジド・ファイナンス運用は、ダウサイド・リスクの管理を徹底しながら、ベンチマークを長期でアウトパフォーマンスした実績があります。また証券化クレジット運用では、当社の中核である高格付および投資適格の運用において、設定来、同業他社の中で競争力のある水準となっています。また、オポチュニスティックおよびハイインカム運用においても、良好なトータル・リターンをもたらした実績があります。こうした長年の経験は、運用に求められる知識や、リスク管理における深い知見によるものだと考えています。
- **真のグローバルな投資アプローチ：**
私たちのチームは英国のロンドン、米国のスタンフォードおよびミネアポリスに拠点を有しており、地域を跨いで運用担当者が在籍していることが、多様なポートフォリオ構築を可能にしています。平均経験年数18年の43名の投資プロフェッショナルからなる層の厚いチームが、グローバルの債券運用チームに組み込まれています¹。チームの規模と経験の深さが、当社のプラットフォームを強化しています。
- **体系化された投資プロセスを構築することで、潜在的なリスクの早期把握に努めており、こうした取り組みにより、中長期にわたる安定的な実績の積み上げに寄与してきました：**
投資プロセスには、全社的な日次のマクロ・コール、週次のポジショニング・ミーティング、月次のセクター・アップデートが含まれます。こうしたプロセスにクレジット・アナリストおよびポートフォリオ・マネジャーが関与することで、積極的な意思決定が行われ、セクターおよび各資産レベルで変化し続ける投資テーマへの迅速な対応が可能となっています。私たちの積極的かつ包括的なアプローチによって、ローンを額面価格未満で取得する機会をもたらし、これがクレジット・サイクルを乗り越えるための構造的なクッションの役割を果たすほか、相対的価値の向上によるリターンへの寄与や、信用状況が悪化した銘柄への迅速な対応に貢献しています。
- **ブルーベイとRBCの広範囲にわたるプラットフォームの活用：**
私たちのプラットフォームは、広範囲にわたるRBCブルーベイの債券投資チーム（運用資産残高1,580億米ドル、投資専門家150名）²の一部であり、投資適格、マクロ、エマージング市場など様々な他の運用チームの専門性を活用することができます。これはトップダウンの見通しを形成する上で不可欠な存在であり、意思決定に向けた重要な側面を担っています。また、経験豊富なオペレーション、インフラ、法務サポートのネットワークなど、幅広いRBCの運用基盤を活用できることも恩恵をもたらしています。

今後のCLO発行に向けた計画

グローバルで15本のCLO発行を達成しましたが、私たちと親会社であるRBCとの間には緊密なパートナーシップがあります。RBCの豊富な資金的援助を活用することで、私たちの欧州および米国CLOプラットフォームの拡充に取り組んでいます。

^{1 2} RBC GAM、2026年1月31日時点

ディスクレーム

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号
一般社団法人 資産運用業協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

(年率、税抜き)	債券戦略				株式戦略
	ヘッジマーク戦略	トータル・リターン戦略	絶対リターン戦略	プライベート戦略	
運用管理報酬（上限）	0.70%	1.30%	1.30%	1.55%	1.00%
成功報酬（上限）	-	20.00%	20.00%	20.00%	-

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上



RBC BlueBay
Asset Management